

令和7年度 事業報告書

事業所名	ワークセンターあいの	実施事業名	就労継続支援 B 型事業																																																																				
事業方針	・「平均工賃月額」に応じた報酬体系を継続し、作業効率、生産性の向上を目標に掲げて取り組んでいく ・障害特性の理解を深め、適切な支援の提供を行う事ができるように、積極的に研修会や施設見学等への参加を計画実践する。また、事業が行っているサービスについての理解を深めるため事業所内研修会を行う ・福祉 QC 活動によりサービスの質と職員の支援技術向上に努める ・個別支援計画の充実と計画に沿った支援を行い、技術や精神面での向上を図ることが出来るように支援力強化に努める ・各関係機関と連携しながら、生活の質の安定、精神の安定を図り、利用者の方々が安心して活動へ参加できるように努める ・定員25名で実施する																																																																						
	短期目標(1年以内) ・平均工賃30,000を目指す → 28,600 円(未達成) ・経済状況の変化に伴い、現在提供している作業種目の見直しを行う → アイロンプレス班を9月で廃止 ・登録者を31名から35名に増やし、安定した作業運営を行いながら一般就労への送り出しを図る → 年度末登録者数 31 名 一般就労者1名 新規契約者4名(特支1名、在宅2名、A 型1名) 契約終了者3名(一般就労1名、介護保険1名、生活介護1名、他 B 型1名) ・個別支援計画を支援者へ浸透させる事により、個々の特性を生かした支援技術の向上を図る																																																																						
今後の課題	<table><tr><th colspan="2">月</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th></tr><tr><td rowspan="2">営業日</td><td>予定</td><td>26</td><td>25</td><td>25</td><td>27</td><td>24</td><td>26</td><td>27</td><td>25</td><td>26</td><td>24</td><td>24</td><td>26</td></tr><tr><td>実績</td><td>26</td><td>25</td><td>25</td><td>27</td><td>24</td><td>26</td><td>26</td><td>24</td><td>22</td><td>24</td><td>24</td><td>26</td></tr><tr><td rowspan="2">目標数</td><td>予定</td><td>624</td><td>600</td><td>600</td><td>648</td><td>576</td><td>624</td><td>648</td><td>600</td><td>624</td><td>576</td><td>576</td><td>624</td></tr><tr><td>実績</td><td>641</td><td>625</td><td>633</td><td>644</td><td>600</td><td>607</td><td>602</td><td>572</td><td>478</td><td>558</td><td>524</td><td>597</td></tr></table>			月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	営業日	予定	26	25	25	27	24	26	27	25	26	24	24	26	実績	26	25	25	27	24	26	26	24	22	24	24	26	目標数	予定	624	600	600	648	576	624	648	600	624	576	576	624	実績	641	625	633	644	600	607	602	572	478	558	524	597
	月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																									
営業日	予定	26	25	25	27	24	26	27	25	26	24	24	26																																																										
	実績	26	25	25	27	24	26	26	24	22	24	24	26																																																										
目標数	予定	624	600	600	648	576	624	648	600	624	576	576	624																																																										
	実績	641	625	633	644	600	607	602	572	478	558	524	597																																																										
		年間営業日 (予定) 305日 (実績) 299日																																																																					
		延べ利用者数(予定) 7,320名 (実績) 7,081名																																																																					
		利用平均 (予定) 24名 (実績) 23.7名																																																																					
		*12月にインフルエンザが蔓延し、3日間休業となった。																																																																					
今後の課題	・作業支援に加え、生活支援の強化(専門知識の習得) ・作業種目を増やし、下請け作業を安定させる ・特別支援学校の現場実習から、卒業後の利用につながる流れを継続させる ・実習及び取引企業の開拓を行う ・令和 10 年度までに就職生を1名出す(3年毎に1名)																																																																						

令和7年度 事業報告書

事業所名	アクティビティセンターあいの	実施事業名	放課後等デイサービス																																																																				
事業方針	・家庭、学校、関係機関との連携を図り、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進を行い、学校や家庭とは異なる時間・空間・人・体験等を通して、個々の特性と発達の段階に応じた支援を行う ・「子どもの特性」の受容に伴う家族への「寄り添う支援」「子どもの育ちを支える力をつけれるような支援」を行いながら、子ども発達を共にサポートしていく ・家族全体を支援する観点から、保護者の就労等による預かり希望に対しては保護者との連携をとりつつ実施する ・専門職による発達段階に合わせた課題を用いた療育を行いながら、発達の特性や思春期の体の変化に応じた支援を実施するための研修会等へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図り専門性を高める ・自立支援協議会への参加や市内の放課後等デイサービス事業所と連携し、地域で子どもの発達を支援する ・キッズステーションあいの・ワークセンターあいのと連携し、子どもの成長（ライフステージ）に沿った支援、将来を見据えた支援を行う ・定員10名で実施する ・地域生活支援事業（日中一時支援）を実施し、日中一時の支援を必要とする方の受け入れを行う																																																																						
	短期目標（1年以内） ・新たにITを取り入れ、職員は業務の効率化をはかり、児童支援では将来へ向け正しい操作や使い方を学ぶ機会を取り入れる →職員は会議等でソフトを取り入れ、記録業務の効率を図ることが出来ている。児童への支援としてはスマホやSNSの勉強会を行ったり、タブレットを使い危険予知トレーニングやソーシャルスキルトレーニングなどを取り入れる事が出来た ・継続的に学校に通学出来ない児童へは通常の発達支援に加えて、学校との情報共有を行い、事業所と学校の間で緊密な連携を図りながら支援を行う →保護者・学校・スクールソーシャルワーカー・相談支援事業所と連携をとり支援を行う事が出来た 長期目標（3年以内） ・野外遊具を含む自然体験学習場所を段階的に整備していく →森林組合に依頼し伐採された丸太を使用したアスレチック「まるた広場」を開設する事が出来た。ワークセンターあいのからの協力もあり、様々な遊具を製作出来ているので、今後はより楽しめる場となるよう工夫を行い、計画的な点検もおこなっていく。																																																																						
令和7年度の重点目標に対する事業の成果	<table><tr><th colspan="2">月</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th></tr><tr><td rowspan="2">営業日</td><td>予定</td><td>26</td><td>25</td><td>25</td><td>27</td><td>24</td><td>26</td><td>27</td><td>25</td><td>26</td><td>24</td><td>24</td><td>26</td></tr><tr><td>実績</td><td>26</td><td>25</td><td>25</td><td>27</td><td>24</td><td>26</td><td>26</td><td>24</td><td>25</td><td>24</td><td>24</td><td>26</td></tr><tr><td rowspan="2">目標数</td><td>予定</td><td>260</td><td>250</td><td>250</td><td>270</td><td>250</td><td>250</td><td>270</td><td>250</td><td>240</td><td>230</td><td>230</td><td>260</td></tr><tr><td>実績</td><td>316</td><td>275</td><td>284</td><td>315</td><td>298</td><td>313</td><td>299</td><td>294</td><td>292</td><td>256</td><td>262</td><td>298</td></tr></table>			月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	営業日	予定	26	25	25	27	24	26	27	25	26	24	24	26	実績	26	25	25	27	24	26	26	24	25	24	24	26	目標数	予定	260	250	250	270	250	250	270	250	240	230	230	260	実績	316	275	284	315	298	313	299	294	292	256	262	298
	月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																									
営業日	予定	26	25	25	27	24	26	27	25	26	24	24	26																																																										
	実績	26	25	25	27	24	26	26	24	25	24	24	26																																																										
目標数	予定	260	250	250	270	250	250	270	250	240	230	230	260																																																										
	実績	316	275	284	315	298	313	299	294	292	256	262	298																																																										
年間営業日（予定） 305日（実績） 302日 延べ利用者数（予定） 3,050名（実績） 3,591名 利用平均（予定） 10名（実績） 11.8名																																																																							
※追加説明 ・新規契約：R7年4月4名、R7年6月1名、R8年3月1名 ・契約終了：R7年12月1名、R8年3月4名 （R7年4月の登録者29名、R8年3月末時点で登録者 28名）																																																																							
今後の課題	・個別訓練・運動療育をプログラムとして取りいれている。引き続き得意な事・好きな事を取り入れていく中で成長を促していきたい。今年度は音楽活動やスポーツ観戦を取り入れる予定 ・日々の支援と専門職による訓練を融合し、子どもの特性や課題を共有し、進学・進級時の切れ目のない支援を行う ・自然体験や園芸・野外活動を充実させることが出来る様に周辺の開拓・整備を行う ・登校困難児に対して支援体制を整え提供できる職員の育成・研修を行い、支援体制を整える																																																																						

令和7年度 事業報告書

事業所名	ケアステーションあいの				実施事業名	生活介護事業																																																																											
事業方針	・医療、介護、栄養等の専門職が連携し、各々が専門性を発揮し、障がいの特性や個々のニーズに応じたきめ細やかなサービスの提供に努める ・基本的な日常生活支援に加え、個々のニーズに合わせた作業・創作活動やリハビリ、レクリエーション、クラブ活動、行事参加など生活をより豊かにするためのプログラムを取り入れる ・福祉QC活動によりサービスの質を追求するとともに職員の支援技術向上に努める ・介護保険を含めライフステージを見据えた支援をご本人やご家族とともに考え意向に沿った支援に努める ・定員25名、人員体制配置1.5：1で実施する ・地域生活支援事業（日中一時支援）を実施し、日中一時の支援を必要とする方の受入れを行う（対象地域：雲仙市、諫早市、島原市）																																																																																
令和7年度の重点目標に対する事業の成果	【短期目標】																																																																																
	・利用定員25名。平均利用23.9名（区分5,6の利用割合75.7%、送迎割合77.0%） ・新規利用者0名 ・契約修了者4名（介護保険2名、療養型病院1名、他事業所1名） ・3年計画による定員の見直し(28名から20名へ)の第一段階として、定員25名で実施するも介護保険への移行など自然減少に対し新規利用者を獲得できず定員割れになった。また職員は確保しつつも1.5：1への配置変換ができなかった ・地域とのつながりを目的に地域の環境整備（ゴミ拾い、公共トイレの清掃など）に積極的に取り組んだ ・日曜日の営業について、ご家族のニーズ等を検証しつつ年間8回の営業となった ・活動チームという枠をなくし個々のニーズに合わせた活動を柔軟に行った ・生活介護における工賃規定の抜本的な見直しを行った（作業活動に対する評価）																																																																																
	【長期目標(3年以内)】																																																																																
	・医療的ケアが必要な利用者様など、将来的な生活介護の対象利用者様について今後は共生型も含めて検討していく ・建物の段階的な修繕については引き続き事業計画に組み込んでいく																																																																																
	<table><tr><td></td><td></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td rowspan="2">営業日</td><td>予定</td><td>27</td><td>26</td><td>26</td><td>28</td><td>25</td><td>27</td><td>28</td><td>26</td><td>27</td><td>25</td><td>25</td><td>27</td></tr><tr><td>実績</td><td>27</td><td>26</td><td>26</td><td>27</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>25</td><td>26</td><td>25</td><td>25</td><td>26</td></tr><tr><td rowspan="2">目標数</td><td>予定</td><td>648</td><td>624</td><td>624</td><td>672</td><td>600</td><td>648</td><td>672</td><td>624</td><td>648</td><td>600</td><td>600</td><td>648</td></tr><tr><td>実績</td><td>648</td><td>611</td><td>638</td><td>683</td><td>630</td><td>657</td><td>654</td><td>590</td><td>575</td><td>588</td><td>550</td><td>610</td></tr></table>															4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	営業日	予定	27	26	26	28	25	27	28	26	27	25	25	27	実績	27	26	26	27	25	26	27	25	26	25	25	26	目標数	予定	648	624	624	672	600	648	672	624	648	600	600	648	実績	648	611	638	683	630	657	654	590	575	588	550	610
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																			
	営業日	予定	27	26	26	28	25	27	28	26	27	25	25	27																																																																			
		実績	27	26	26	27	25	26	27	25	26	25	25	26																																																																			
	目標数	予定	648	624	624	672	600	648	672	624	648	600	600	648																																																																			
		実績	648	611	638	683	630	657	654	590	575	588	550	610																																																																			
年間営業日（予定）317日（実績）311日																																																																																	
延べ利用者数（予定）7,608名（実績）7,434名																																																																																	
※追加説明 利用平均（予定）24.0名（実績）23.9名																																																																																	
・契約終了者の内2名は原則日数を超えて利用されている方であった																																																																																	
今後の課題	・障害の程度に合わせた支援が適切かつ安全に実施できるよう、対象利用者や活動場所確保のための定員減少、職員体制の見直しを行う（定員28名→20名へ）＊3年計画 ・医療的ケアが必要な利用者様の受入れを含め、対象利用者様の範囲を検討＊3年計画 ・65歳到達の利用者様への介護保険への移行を含め、共生型を検討する（先進地視察を6月に計画している） ・職員の確保及び育成																																																																																

令和7年度 事業報告書

事業所名		ケアステーションあいの				実施事業名		短期入所（単独型）						
事業方針	・短期入所定員（6床）をフルに活用し、短期入所を希望する利用者やご家族の要望に沿えるよう、また緊急時に安心して生活できるよう支援体制を整える ・相談支援事業所や学校等関係機関との連携により、ニーズを把握し調整する ・家族との良好な関係性により、相談しやすい環境づくりと介護負担の軽減を図る ・利用者の特性や必要な支援に合わせた支援体制を整え、安心で快適な生活空間を提供する（直接的な支援はより丁寧に、間接的な支援は効率的に） ・自立した生活のための個別支援を希望する利用者へ、配膳や洗濯・寝具の準備など日常生活のスキルを高めるための支援を行う ・雲仙市地域生活拠点事業の指定事業所として、緊急時の受入れ・相談に可能な範囲で協力する ・定員6名で実施する													
	[短期目標] ・将来それぞれ自立した生活を送るために必要な生活訓練プログラムを具体化し実施する →メンバーを選定しご本人の同意のもとで洗濯や清掃、翌日の準備を中心に行った。QC活動でもテーマとして取り上げ実施するも職員体制の構築が不十分であった ・職員の確保及び定着のための勤務体制の見直し →支援の程度に合わせた職員の調整を行ったが、生活訓練などプラスαの支援ができていない ・週末の営業については、生活介護の日曜日営業と併せて調整する →月に2～3回の土日営業を行った。その他の週末については星のホームと連携して受入れを行った [長期目標(3年以内)] ・自然災害など地域の福祉避難所としての機能を備える(利用契約がある方から) →非常用電源の確保を法人として検討中 ・利用料について社会情勢に合わせた単価の見直しを段階的に行う →物価の高騰やグループホーム利用料とのバランスを考え、食費単価の見直しと共同費(水道光熱費・日曜消耗品費相当)を設定した ※R8.4月利用分より適用 ・夜間の支援体制について、利用者の支援程度や成長に合わせた支援方法を構築する →個々の支援内容の見直しや、見守りカメラ・眠りスキャン等のICT機器を利用して夜間は宿直者1名で対応している													
令和7年度の重点目標に対する事業の成果			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	営業日	予定	30	26	30	31	27	30	31	30	26	27	28	31
		実績	28	25	27	27	26	26	27	24	22	24	24	26
	目標数	予定	165	145	165	170	150	165	170	165	145	150	155	170
実績		155	164	174	194	179	198	197	193	155	155	157	168	
年間営業日（予定） 347日（実績） 306日														
延べ利用者数（予定） 1,915名（実績） 2,089名														
※追加説明 利用平均（予定） 5.5名（実績） 6.8名														
・星のホーム(短期入所)と連携して週末は計画的に閉館する日をつくり職員体制を整えた ・自然災害や感染症が原因の臨時休業はなかった														
今後の課題	・登録者数50名を維持することにより、日中事業所の利用者確保に繋げる(3月現在52名) ・将来それぞれの自立した生活を送るために必要な生活訓練プログラムを具体化し実施するための職員体制を構築する ・自然災害など地域の福祉避難所として機能を備える(非常用電源の確保など) ・宿直ができる職員の確保													

令和7年度 事業報告書

事業所名	キッズステーションあいの	実施事業名	放課後等デイサービス事業																																																																				
事業方針	・家庭、学校、関係機関との連携を図り、個々の特性と発達の段階に応じた支援を行う ・「子どもの特性」の受容に伴う家族への「寄り添う支援」を行いながら、子どもの発達を共にサポートしていく ・発達の特性に応じた支援を実施するための研修会へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図り専門性を高める ・集団療育と個別療育を明確にし、個々の成長に合わせた特色ある支援を提供する ・自立支援協議会(子ども支援部会)への参加や市内の放課後等デイサービス事業所と連携し、地域で子どもの発達を支援する ・児童発達支援、アクティビティセンターあいのと連携し、子供の成長に沿った途切れのない支援を行う ・児童発達支援事業を通じて定員 10 名で実施する																																																																						
令和7年度の重点目標に対する事業の成果	・1名の児童を児童発達支援から放課後等デイサービスの利用へ繋げることができた 新規で11月より1年生1名もサービスの利用を開始した ・2名の児童がキッズステーションからアクティビティセンターへ移行することができた 短期目標：(1年以内) ・営業時間についてご家族のニーズや社会情勢などに合わせて見直し実施する⇒営業時間についての変更はなかったが、ご家族のニーズに合わせ自宅送迎の時間調整を行った ・発達障害への理解を深めるための専門的な研修を受けることによりプログラムの多様化と支援技術を高める（こども医療福祉センターの協力） ⇒保育士1名が地域療育短期実習（肢体不自由児）に参加し、習得した支援技術を他の職員へも共有できた。移乗や入浴支援の際にも活用できた ・一人ひとりの子どもをより深く理解するため、日々積極的に家族と関わり、ご家族同席のサービス担当者会議等を行い、子供の成長のための助言ができる力を身につける⇒送迎時のご家族との会話や定期的なモニタリングの際に情報共有及び助言ができた 長期目標（3年以内） ・屋外遊具を含む自然体験学習の場所を段階的に整備していく⇒インクルーシブ遊具の一つとして、高さのある箱型の砂場を設置したことで、車いす利用の児童も参加できた。 ・保育士などの有資格者の確保については今年度該当なしであった。 <table><tr><td></td><td></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td rowspan="2">営業日</td><td>予定</td><td>26</td><td>25</td><td>25</td><td>27</td><td>24</td><td>26</td><td>27</td><td>25</td><td>26</td><td>24</td><td>24</td><td>26</td></tr><tr><td>実績</td><td>26</td><td>25</td><td>25</td><td>27</td><td>24</td><td>26</td><td>26</td><td>24</td><td>25</td><td>24</td><td>24</td><td>26</td></tr><tr><td rowspan="2">利用数</td><td>予定</td><td>235</td><td>225</td><td>225</td><td>245</td><td>220</td><td>235</td><td>245</td><td>225</td><td>235</td><td>220</td><td>220</td><td>235</td></tr><tr><td>実績</td><td>285</td><td>260</td><td>271</td><td>294</td><td>246</td><td>239</td><td>264</td><td>236</td><td>259</td><td>238</td><td>211</td><td>252</td></tr></table> 年間営業日 （予定） 305 日 （実績） 302 日 延べ利用者数 （予定） 2,765 名 （実績） 3,055 名 利用平均 （予定） 9.0 名 （実績） 10.1 名					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	営業日	予定	26	25	25	27	24	26	27	25	26	24	24	26	実績	26	25	25	27	24	26	26	24	25	24	24	26	利用数	予定	235	225	225	245	220	235	245	225	235	220	220	235	実績	285	260	271	294	246	239	264	236	259	238	211	252
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																										
営業日	予定	26	25	25	27	24	26	27	25	26	24	24	26																																																										
	実績	26	25	25	27	24	26	26	24	25	24	24	26																																																										
利用数	予定	235	225	225	245	220	235	245	225	235	220	220	235																																																										
	実績	285	260	271	294	246	239	264	236	259	238	211	252																																																										
今後の課題	・営業時間について、ご家族のニーズや社会情勢に合わせて見直し実施する ・専門的支援実施計画書を作成し、個々のニーズ・課題に沿った支援の提供と記録を行う ・保護者・職員が共に学ぶ機会の提供として、講演会を計画し、実施する																																																																						

令和7年度 事業報告書

事業所名	キッズステーションあいの	実施事業名	児童発達支援事業																																																																				
事業方針	・家庭、保育所等、関係機関との連携を図り、個々の特性と発達の段階に応じた支援を行う ・「子どもの特性」の受容に伴う家族への「寄り添う支援」を行いながら、子どもの発達を共にサポートしていく ・発達の特性に応じた支援を実施するための研修会へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図り専門性を高める ・集団療育と個別療育を明確にし、個々の成長に合わせた特色ある支援を提供する ・自立支援協議会(子ども支援部会)へ参加し、発達が気になる子どもの把握と地域で子どもの発達を支援する ・放課後等デイサービスと連携し、子どもの成長に沿った途切れのない支援を行う ・放課後等デイサービス事業を通じて定員 10 名で実施する ・週 3 回の療育（月・水・金）及び支援時間（1 時間 30 分～3 時間）を確保する																																																																						
令和7年度の重点目標に対する事業の成果	・8名の児童、週3回の営業でスタートする。新たに9月より3名、3月より1名が利用開始された 短期目標：(1年以内) ・保育所等訪問支援を開始し、地域の療育機関や保育園などと連携することで地域資源のひとつとしての協力体制を構築する⇒保育所等訪問支援を開始できなかったが、関係機関と連携を図ることはできた ・言語聴覚士・理学療法士の専門性を活かした訓練を行うとともに、保育士との連携による支援技術の向上を図る⇒役割を明確にした上で訓練を行い、支援後の振り返りを行った ・事業所が提供する療育の見える化を図るため、5領域との関連性を明確にした計画を作成し、プログラムに沿った支援を行う ⇒一人ひとりに応じた支援計画を作成し、プログラムに沿った支援を実施した																																																																						
	長期目標（3年以内）																																																																						
	・屋外遊具を含む自然体験学習の場所を段階的に整備していく⇒インクルーシブ遊具の一つとして、高さのある箱型の砂場を設置した																																																																						
	・ソーシャルスキルトレーニングが提供できる職員の育成についてはまだ不十分であった																																																																						
	<table><tr><td colspan="2"></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td rowspan="2">営業日</td><td>予定</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>13</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>13</td></tr><tr><td>実績</td><td>13</td><td>12</td><td>13</td><td>13</td><td>12</td><td>13</td><td>13</td><td>11</td><td>13</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr><tr><td rowspan="2">利用数</td><td>予定</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>30</td><td>35</td><td>40</td><td>35</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>35</td></tr><tr><td>実績</td><td>30</td><td>29</td><td>29</td><td>33</td><td>29</td><td>42</td><td>45</td><td>38</td><td>40</td><td>42</td><td>44</td><td>40</td></tr></table>					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	営業日	予定	13	13	13	13	12	13	14	13	12	12	12	13	実績	13	12	13	13	12	13	13	11	13	12	12	12	利用数	予定	35	35	35	35	30	35	40	35	30	30	30	35	実績	30	29	29	33	29	42	45	38	40	42	44	40
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																									
	営業日	予定	13	13	13	13	12	13	14	13	12	12	12	13																																																									
		実績	13	12	13	13	12	13	13	11	13	12	12	12																																																									
	利用数	予定	35	35	35	35	30	35	40	35	30	30	30	35																																																									
		実績	30	29	29	33	29	42	45	38	40	42	44	40																																																									
年間営業日 (予定) 153 日 (実績) 149 日																																																																							
延べ利用者数 (予定) 405 名 (実績) 441 名																																																																							
利用平均 (予定) 2.6 名 (実績) 2.9 名																																																																							
今後の課題	・利用希望に応じて開所日数を増やすなどの検討を行う ・保育所等訪問支援事業開始を検討し、地域資源の一つとしての協力体制を構築する ・保護者・職員が共に学ぶ機会の提供として、講演会を計画し、実施する ・言語・理学・作業について、週2回（月8回）の専門的訓練を確保する																																																																						

令和7年度 事業報告書

事業所名		星のホームあいの				実施事業名		共同生活援助／短期入所																																																																									
事業方針		1. 地域との結びつきを重視し、奉仕活動、自治会活動、各種行事等に積極的に参加し地域貢献に努め、入居者は地域住民として認知され、安全で安心した普通の暮らしが出来る様支援を行う 2. 住民は、バリアフリーで整備し車椅子利用者でも安全で安心して日常生活が過ごせる様な支援を行う 3. 短期入所は空床型で実施する																																																																															
令和7年度の重点目標に対する事業の成果		【短期目標】 ・地域住民として毎月1回の奉仕活動や各種行事に積極的に参加する → 利用者様の休みの日を利用してディプスを着用してクリーンウォークを実施した地域の恒例行事においては積極的に参加を行う ・希望に沿って休日を有効に過ごせる様に支援する → 数名での外食や買い物に行き希望の品を購入する事が出来た ・個別には移動支援サービスを利用して個人のニーズに合った支援を行う → 移動支援を利用して帰省したり、ボーリングや映画を観に行ったり衣類購入や外食をしたり個々にあった支援を行った ・毎日が楽しく過ごせるように健康面・衛生面に留意して支援を行う → 急な体調の変化など緊急を要する場合には日中事業所の兼務職員と連携し、速やかに病院受診を行った。利用者様の体調の変化や衛生面においても、日中事業所を含めた法人全体で対応できることで大変安心感が持てた ・65歳問題に取り組み介護保険優先をご家族に理解していただき手続き等も前向きに実施した結果、1名の方が4月に特別養護老人ホームに入所となり、あとの1名の方も2月にご自宅へ戻り短期入所を利用しながら入所を待つことになった																																																																															
		<table><tr><td colspan="2">月</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td rowspan="2">営業</td><td>予定</td><td>30</td><td>31</td><td>30</td><td>31</td><td>31</td><td>30</td><td>31</td><td>30</td><td>31</td><td>31</td><td>28</td><td>31</td></tr><tr><td>実績</td><td>30</td><td>31</td><td>30</td><td>31</td><td>31</td><td>30</td><td>31</td><td>30</td><td>31</td><td>31</td><td>28</td><td>31</td></tr><tr><td rowspan="2">目標</td><td>予定</td><td>270</td><td>279</td><td>270</td><td>279</td><td>279</td><td>270</td><td>279</td><td>270</td><td>279</td><td>279</td><td>252</td><td>279</td></tr><tr><td>実績</td><td>271 6</td><td>243 6</td><td>261 16</td><td>284 11</td><td>262 4</td><td>273 9</td><td>283 39</td><td>266 36</td><td>254 21</td><td>249 22</td><td>240 22</td><td>208 26</td></tr></table>												月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	営業	予定	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	実績	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	目標	予定	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	実績	271 6	243 6	261 16	284 11	262 4	273 9	283 39	266 36	254 21	249 22	240 22	208 26
		月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																		
		営業	予定	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31																																																																		
			実績	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31																																																																		
		目標	予定	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279																																																																		
			実績	271 6	243 6	261 16	284 11	262 4	273 9	283 39	266 36	254 21	249 22	240 22	208 26																																																																		
		※実績の下段は短期入所 *R8.3.31 現在																																																																															
		年間営業日 (予定) 365日 (実績) 365日																																																																															
		延べ利用者数 (予定) 3,285名 (実績) 3,094名、短期入所 218名																																																																															
利用平均 (予定) 9名 (実績) 8.48名																																																																																	
※追加説明																																																																																	
・5月と12月に1名の方が長期の入院をされた為実績が減少している。 ・現在、区分6(1名)、区分5(2名)、区分4(3名)、区分3(1名)。障害が重い利用者様が2名(12月・2月)退去されたため空床となり、実績が目標に届かなかった																																																																																	
今後の課題		・感染症対策は引き続き徹底していく ・休日や余暇の過ごし方を充実させていく ・65歳到達の利用者様については、利用者様の心身の状態に合ったサービスは何かをご本人やご家族、関係機関等と話し合い、介護保険優先とし本人に無理のない様な将来を共に考えて行きたい ・今後は若い年齢層で出来るだけADLが自立に近い状態の入居者を促進して行きたい ・2027年問題について検討が必要																																																																															

令和7年度 事業報告書

事業所名		ステラ		実施事業名		相談支援事業（者・児）							
事業方針	・関係法令を遵守し、利用者様に対して必要な特定相談支援事業、障害児相談支援事業を適正に提供する ・利用者様の特性に応じて自立した日常生活または社会生活を営むことができる様、必要な情報の提供、サービスの調整等を行う ・利用者様の意思及び人格を尊重して、常に利用者様の立場に立ったサービスの提供に努める。その為、できる限り他法人の利用者様の計画相談を中心に行う ・地域との結びつきを重視し、市町村や障害福祉サービス事業所等との連携を図り、地域において必要な社会資源の改善、開発に努める ・実施対象地域は雲仙市、諫早市、島原市（その他は要相談）とする ・雲仙市自立支援協議会（相談支援部会）へ参加し、他の相談支援事業所と連携しながら地域の課題に取り組む ・雲仙市地域生活拠点事業の指定事業所として、緊急時の相談支援・対応に努める ・福祉系大学や専門学校等と連携し実習生の受入れを積極的に行う												
重点目標に対しての成果	特定相談登録者数・利用実績件数												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	雲仙市	34	34	35	34	36	36	36	36	36	36	36	36
	諫早市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	南島原市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	壱岐・対馬	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	県外	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	登録者数	47	47	48	47	49	49	49	49	49	49	49	49
	利用支援	7	2	1	2	4	0	3	2	3	0	1	1
	利用継続	8	7	4	3	6	12	4	4	4	5	5	7
	請求件数	10	9	11	5	9	12	7	6	7	5	6	8
	請求件数合計：95												
	障がい児相談支援登録者数・利用実績件数												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	雲仙市	59	58	58	58	59	59	60	61	61	60	60	59
諫早市	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
島原市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
登録者数	66	65	65	65	66	66	67	68	68	67	67	65	
利用支援	10	2	8	6	4	5	3	8	7	6	4	5	
利用継続	10	2	10	8	5	9	2	9	7	5	4	5	
請求件数	20	3	18	14	9	14	5	17	14	11	8	10	
請求件数合計：143													
課題	・令和8年4月より新体制となり「行動障害支援体制加算」のみ算定のみとなる。その他の体制加算については、必要な研修を未受講であるため未算定となっているが、今後、必要な研修受講を進めながら、支援体制の整備及び加算取得について検討していく。												